

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。  
詩篇 119:105

心に植えつけられたみことばを、素直に受け入れなさい。みことばは、あなたのたましいを救うことができます。  
ヤコブの手紙 1 : 21

テレビのチャンネルを変えたところ、アナウンサーの声に耳を欻（そばだ）てました。陸上の解説者のMさんは、解説の際の選手情報が話題となっているとその内容が紹介されました。「アフリカの選手のYさんは、聖書をよく読むようで、30キロを過ぎてから苦しくなると聖書のことばを思い出しながら走るそうですよ」と。やはり、みことばは力!!です。

ずいぶん前に聞いたお話で、それがアウシュビッツでのことか、思い出せないのですが、いずれにしても緊迫した状況の中であったと思います。ある一人の人が自分の持っていた聖書の1ページ、1ページを破いて周りの人々に配りました。ちぎられた一枚に書かれたみことばを人々は貧るように読んだそうです。明日をも知れないのちの危険にある人々にみことばが力を、希望を与えたと感動しました。

上記の聖句のように、心に植え付けられたみことばを、すなおに受け入れるとともに、みことばを暗唱しておくとかのときに、あの選手のように、みことばが力となって前に進むことができるのだと思いました。聖書通読の中で、心に残ったみことばを覚えてみませんか。  
伝道師 川島正子